

郡山市消防団の充実・強化について

議案第39号 令和8年度一般会計予算

議案第79号 郡山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例



令和8年3月定例会
議案調査説明資料
総務部

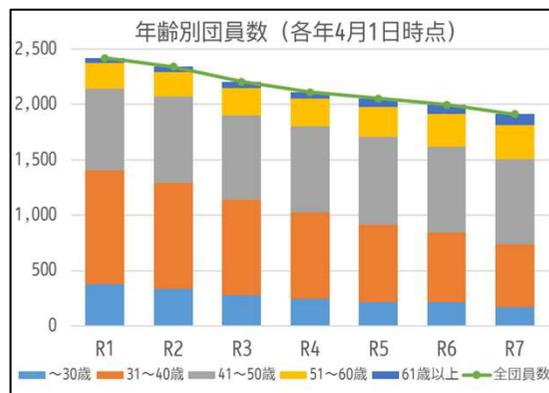
1 本市消防団の現状と課題

- (1) 団員数は令和元年の2,416人から、令和7年には506人(約21%)減少の1,910人となっており、**団員数の減少が進んでいる**
- (2) 団員の年齢構成はR元年で40歳以下が約6割であったが、R7年は**41歳以上が6割以上**を占めており、**団員の高年齢化が進んでいる**
- (3) **被用者割合の高まり**により**日中に出勤できる団員が減少**している
- (4) 人口減少等が進む中、**更に団員確保の困難化が想定される**

R1年4月1日
・平均 39.3歳
・41歳以上 42%

R7年4月1日
・平均 43.4歳
・41歳以上 61%
・被用者割合75%

R5年4月実施
団員アンケート
・日中活動不可66%
・班統廃合の必要性
→64%が必要



2 消防団の充実・強化に向けたこれまでの主な取り組み

施策の体系	これまでの主な取り組み
I 団員の確保	消防団 [※] ト事業所制度の導入(R元～)
II 団員の処遇改善	団員・出勤報酬の増額(R4等) 団員報酬 35,500円/年→36,500円/年 災害出勤 3,000円/日→8,000円/日 等
III 消防装備の充実	作業服リニューアル(H16)、防寒着(H18)、防寒長靴(H29)等 計画的な消防ポンプ自動車等の更新
IV 団員活動拠点の整備	消防車庫詰所の整備(R4:湖南町 旧荒町・古町班等)
V 効率的な体制等の確保	団員条例定数の見直し(R2:2,700人→2,500人)
	消防車庫詰所の再編(R2:再編計画策定)
	消防団参集アプリ(S.A.F.E)の導入(R3～)
	隣接地区隊の火災出勤等運用の拡大(R6～)

3 消防団の更なる充実・強化に向けた検討等の経過 (令和6～7年度)

今後の人口減少社会等を見据え、バックキャスト思考により「消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例」に定める**団員定数(2,500人)の見直し**と、年齢や世代を問わず、就業状況に応じた消防団活動を可能とする「**機能別消防団員制度**」の導入を検討。

◆機能別消防団員制度とは…

消防団活動へ参加しやすい環境づくりとして、**団員が特定の活動のみ参加できる制度**

【機能別消防団員の例】

- 火災予防活動団員
- 広報活動団員
- 初期消火活動団員 等



◆中核市の機能別消防団員制度導入状況 (R7年4月1日現在)

導入済 33市(福島・いわき等) 検討中 2市 未導入 27市

①渋谷区消防団との意見交換

- 実施日 R7年2月7日
- 会場 渋谷消防署
- テーマ 機能別消防団員制度



②郡山市消防団幹部講習会

- 実施日 R7年6月21日
- 会場 郡山市役所特別会議室
- 講師 消防庁消防団等充実強化アドバイザー



③団員OBへのアンケート

- 実施期間 R7年10～11月
- ・機能別団員としての参加意向
- ・機能別団員制度導入の意見 等
- 回答状況 (抜粋)
- ・回答者105人のうち85人参加意向

④学生団員等とのワークショップ

- 実施日 R7年12月23日
- ・機能別(学生)団員の活動等について等



⑤地区隊長会議等での消防団による協議・検討 等

令和8年度 予算編成方針(2)：暮らしの充実・笑顔になれるまち ～日常を安心して暮らせるまちの形成～

I 団員の確保[機能別団員の導入等]
※条例改正案を含む

○予算額 7,183千円(団員報酬・制服等)

①災害等対応団員(団員0B)

初期消火及び後方活動支援

②防火広報活動団員(学生等)

イベント等での防火・団活動PR



【広報活動イメージ】

種別等	要件等	定数(人)	年報酬:円
基本団員	18歳以上市内 在住・勤・学	旧:2,500 改:1,950	36,500~
災害等対応団員(団員0B)	団歴5年以上 の団員0B	新:170	12,000
防火広報活動 団員(学生等)	18歳以上市内 在住・勤・学		

令和8年度 消防団関連予算 458,972千円
(前年度同時期比 30.3%増)

施策の体系

令和8年度 主な拡充項目

I 団員の確保	機能別団員の導入等 (団員0B・学生) 7,183千円
II 団員の処遇改善	出動報酬の拡充 2,249千円
III 消防装備の充実	熱中症対策の強化(アイスバスト) 1,624千円 消防ポンプ自動車の更新 54,234千円
IV 団員活動拠点の整備	旧小原田班車庫詰所の整備 92,440千円
V 効率的な体制等の確保	消防団・車庫詰所の再編 【ゼロ予算】

II 団員の処遇改善[出動報酬の拡充]
※条例改正案を含む

○予算額 2,249千円

①春季連合検閲式

消防職団員の士気高揚

②団本部主催ポンプ性能検査

消防ポンプの適正管理と操作技能の向上



【検閲式】



【性能検査】

種別等	報酬:円
災害出動	8,000
火災出動	4,000~ 8,000
人命救助	3,000
予防・啓発	2,000
訓練	1,000
新:検閲式	1,000
新:ポンプ性能検査	1,000

III 消防装備の充実[アイスバスト導入・車両更新]

1 熱中症対策の強化(アイスバスト180着導入)

○予算額 1,624千円(国補:1/3)

夏場の消火活動等に従事する団員の熱中症対策として保冷剤入アイスバストを導入



【アイスバストイメージ(左)・消火活動(右)】

2 消防ポンプ自動車の更新(2台)

○予算額 54,234千円(緊防債:充当率100%)

購入後20年経過のポンプ自動車の計画的な更新

【令和8年度更新車両】

- ・熱海2-2(下高玉)
- ・田村1-3(小川)



★新規:消防車両オークション売却による自主財源確保

IV 団員活動拠点の整備[旧小原田班車庫詰所の整備]

○予算額 92,440千円(緊防債:充当率100%)

1 既存車庫詰所の概要

- (1)所在地:小原田4丁目257
- (2)敷地面積:119.80㎡(市有地)
- (3)建築年月:昭和43年3月(築57年経過)
- (4)構造:コンクリートブロック造2階建
- (5)延床面積:90.72㎡

2 移転新築車庫詰所の概要

- (1)所在地:小原田4丁目地内
- (2)敷地面積:375.51㎡
- (3)構造:木造2階建
- (4)延床面積:113.04㎡



【現在の車庫詰所】

R7・6月補正	予算額:千円	R8当初	予算額:千円
用地測量費	531	建設工事費	70,522
地質調査費	1,011	土地購入費	21,630
土地鑑定費	389	水道加入料	105
土地賃借料	458	建物保険料等	183
計	2,389	計	92,440

V 効率的な体制等の確保

[消防団・車庫詰所の再編]

○ゼロ予算事業

1 消防団再編計画

団員減少等の中、消防力の確保と組織及び車庫詰所等の適正化に向け、令和2年度に策定した再編計画を、想定を超える団員数の減少等を踏まえ改訂する。

種別等	R2	現在(R7)	目標値(R11)
分団	52	52(0)	51(▲1)
班	135	132(▲3)	123(▲12)
車庫詰所	189	179(▲10)	146(▲43)
車両	191	182(▲9)	158(▲33)

2 再編計画の改訂に向けた取組み(R8~)

- ・地区隊の現状把握・共有(団員数推移等)
- ・地元町内会・消防署等との調整
- ・先進的消防団との意見交換
- ・地区隊長会議等での協議・検討